

IT活用型経営革新モデル

中田商事が承認受ける

【三重】「提案力・技術力でニッチ(すき間)費、ソフトウェア購入費などが補助対象となす(中田商事(上野市)。このほど、IT活用型経営革新モデル事業に承認された。人数は全国で五十六件、十四年度は四十件という「狭き門」だ。



中田純一社長は昨

年来から経営革新に努め、「ニッチ戦略のリスク回避のためにIT

原価が前年同月と比べて約半分となり、どれだけ無駄遣いをしていなかかったという。ユニック車、機械モノ

また、三月から就業規則・給与規程を一新。賃とも言える十万円以上限となる評価基準額を定めた上で、事務所協力手当、デジタコ手

当、整備手当など手当を細分化。不備があった場合は「減点」として、社長は「厳しいけれど、それが普通にならう」とも負けない会社になる」と強調する。その甲斐あってか、最近では月二件のペースで新規荷主を獲得している。

運賃についても「自分でも高いと思うような見積もりが通る」と

「常」に数件の見積りを作っている「毎日

IT活用型経営革新の承認を受けたこと

で、全ト協を通じて

ビジネスモデルを発表

することが予定されている。

「ウチのノウハウに興味があり、経営革新に取り組んでいる企業があればネットワークが広がる」と期待を寄せる。

を活用する。リスクを減らすことで利益を確保する」ことを模索してきた。デジタコで

アドレスは <http://www.nakada-shoji.co.jp/> (三輪 功)

データ管理し、日報や請求書作成など基幹業務と接続する(1)で、社員の負担を軽減。さらに、データを教育の資料にして、ドライバーの端末から検索できるようにした。「高速代や燃料代など運送